

宣 言

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会は、二〇〇九年四月の発足から五年を経て、県内外から一〇二人が参加して第六回研究発表会を開いた。

テーマは「変革のとき」。三年前に起こった東日本大震災と福島原発事故によって、私たちの生き方が根本から問われている今、幕末維新という変革の時代を生きた龍馬の思想と行動に学ぼうとしたものだ。

長宗我部家十七代当主・長宗我部友親さんの基調講演を挟んで、地元高知と長崎、鹿児島、沖縄からの参加者も加わり、興味深い研究発表が行われた。それぞれ日頃の地道な研鑽がうかがわれ、私たちは多くを学び、心に残るものとなった。

三年後の龍馬暗殺百五十年の年に向けて、龍馬記念館の新館構想も進んでいる。龍馬の人と時代に学びながら、将来へ向けてこの国のあり方を考えていきたい。

平成二十六年五月十七日

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会

